

第37回 笠間つつじまつり



鮮やかに染め上がった山頂付近



見事な眺望が望める展望台

赤やピンク、色とりどりに



稲荷ばやしの演奏

笠間に本格的な春の訪れを告げる第37回「笠間つつじまつり」が、4月19日から5月11日まで、笠間つつじ公園で開かれ、約5万5千人の行楽客でにぎわいました。園内には、25品種・約8500株のつつじが咲き誇り、開花のピークとなったゴールデンウィークには、山肌全体を鮮やかに染め上げました。また、公園山頂では、案内役の「かささま観光大使」が来園者をごやかに出迎え、野点や琴の演奏、稲荷ばやしなど多彩な催しが繰り広げられました。

◆第27回 笠間の陶炎祭 ひまつり

夜まつりライブを演出する炎



ずらりと並んだ笠間焼を品定め



小学生が作ったカラフルな土面

どっと人出、28万人！

笠間焼最大の祭典「第27回 笠間の陶炎祭」が、4月29日から5月5日まで、笠間芸術の森公園イベント広場で開かれました。今年の人出は約28万2千人で、この時期のイベントとしては県内トップ。212の窯元や陶芸作家が参加し、初日から大勢の陶芸ファンが詰め掛けました。今回は、陶器販売や飲食中心など四つのエリアに分けて、ゆっくり散策ができるよう工夫したほか、恒例の土面オークションや小学生の「土面フェスティバル」、企画展、夜まつりライブなどが行われました。